

発行 令和4年7月

社会福祉法人長命荘

〇七四三(七八)八一六

熱中症の怖い季節です。

マスクをつけた状態では、

熱中症の危険度がさらに増します。

予防が必要な場面では

しっかりと予防し、

屋外や、人の少ない場所では、

適宜マスクをはずしましょう。

水分補給も忘れずに！

夏



四季徒然

短かった梅雨。自宅近くの灌漑用溜池の水位は、田植え時期には下がりますが、例年は梅雨時の降雨で復活します。ところが今年復活することもなく梅雨が明けました。加えて途端の猛暑で、田の水の蒸発速度が早く、給水回数は例年になく多いのです。今年の水不足と収穫量を心配しています。

さて、今年の夏祭りは、規模を縮小しながらも、打ち上げ花火は例年どおり実施します。頭上、真上に上がり、音と光の、迫力ある興奮の数分間を、利用者も職員も今から楽しみにしています。

また、6月には、全職員を対象とした「自然災害発生にかか

る業務継続計画」の研修会を実施いたしました。コロナ対策として研修会場を分散し、法人内研修で初めて、ズームを使った研修を行いました。この研修は、今後に備えて、これからも

定期的に継続していく必要があります。

理事長 林 昌弘

オンライン面会を始めました

感染予防のため、長らく続いている面会規制では、皆様

にご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。面会の代替とは参りませんが、長命荘では6月からオンライン面会を始めました。

OA機器を使うというところで、尻込みなさるご家族もおられました。丁寧の説明すると挑戦して下さるご家族も多く、接続ができて、ご面会されると、ご家族様も

入居者様も笑顔でお話されていきました。

遠方からも参加できるのがオンライン面会のメリットの一つ。海外にお住いのご家族様からのお申込みもあり、久しぶりにお顔が見られたと喜んでおられました。

画面越しではなく、直接面会して頂ける日が一日も早く来るように祈るばかりです。



長命荘の取り組みを

掲載して下さいました



この度、奈良ヤクルト販売会社様が発信されている情報誌「腸活レポート Vol. 4」にフォレストホームの取り組みについて掲載して頂きました。

皆様のお目に止まる機会が少ない料理課ですが、介護や看護の職員と連携しながら、皆様の健康の土台をしっかりと作って参ります！

記事はホームページで公開しています。
興味のある方はぜひご覧ください。



新しい職員を紹介します！



川崎 真希 特養生活相談員

笑顔と元気とつながりを大切に、仕事に取り組んでいきたいと思えます。皆様のお力になれるようがんばりますので、どうぞよろしくお願い致します。



河野 真弓 児童デイ保育士

子ども達の成長を近くで感じる事ができるこの仕事にとってもやりがいを感じています。「えるくに行くのが楽しい!」「先生がいてくれると安心」と言ってもらえるように頑張ります。



永田 友美子 軽費ケアワーカー

皆様のありがとうのひと言で頑張れます! いつも笑顔で心掛け、素敵な一日をお過ごし頂けるお手伝いができたらと思っています。よろしくお願い致します。



令和3年度 決算報告

法人単位貸借対照表

令和4年3月31日現在

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
流 動 資 産	226,043,926	流 動 負 債	40,242,527
固 定 資 産	1,807,245,149	固 定 負 債	18,949,232
		純 資 産	1,974,097,316
合 計	2,033,289,075	合 計	2,033,289,075

法人単位事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

科 目	金 額 (円)
サービス活動増減差額	1,190,764
サービス活動外増減差額	1,216,279
経常増減差額	2,407,043
特別増減差額	-1,148,452
当期活動増減差額	1,258,591
前期繰越活動増減差額等	508,847,141
次期繰越活動増減差額	482,105,732

法人単位資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

科 目	金 額 (円)
事業活動資金収支差額	49,254,953
施設整備等資金収支差額	-19,895,148
その他の活動資金収支差額	-28,000,000
当期資金収支差額合計	1,359,805
前期末支払資金残高	205,306,294
当期末支払資金残高	206,666,099

こ 案 内

軽費老人ホーム長命荘
特別養護老人ホームフォレストホーム
ショートステイ・配食サービス
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
電話番号 0743-78-8116
住 所 奈良県生駒市北田原町2429-4

フォレストデイセンター鹿ノ台
電話番号 0743-78-3360
住 所 奈良県生駒市鹿ノ台西1丁目5-1

地域支え合いセンターのどか
電話番号 0743-25-7237
住 所 奈良県生駒市鹿ノ台西1丁目1-18

当法人のホームページは・・・
<http://www.cyomeisou.or.jp/>

令和3年度 事業報告概要

特別養護老人ホームフォレストホーム(定員74名)
入院者等を除いた平均入居者数 62.1名

ショートステイ(定員16名)
平均利用者数 1日あたり 8.5名

デイサービス
年間延べ利用者数 2ヶ所 8,715名

居宅介護支援事業
年間延べケアプラン作成者数 2,016名

地域包括支援センター
年間延べケアプラン作成者数 1,199名

ホームヘルパー
年間提供時間数 3,696.5時間

軽費老人ホーム(定員50名)
入院者等を除いた平均入居者数 47.07名

給食宅配サービス 年間 7,050食

児童デイサービス
年間延べ利用者数 1,308名

料理課からのお知らせ



令和4年度は、『ちょっとリッチな手作りスイーツでおもてなし』と題しまして、栄養士の手作りのスイーツで、ご利用者様をおもてなしさせていただく予定です。次回は8月17日(水)に夏のおもてなしスイーツを予定しています。お楽しみに！

★その他の行事食の予定はこちら！★

7月23日(土) 土用の丑 うなぎ料理

8月12日(金) 8月の誕生日お祝い膳

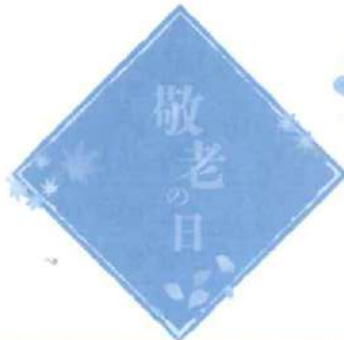
8月17日(水) ちょっとリッチな

夏のおもてなしスイーツ

9月15日(木) 9月の誕生日お祝い膳

9月19日(月) 敬老の日 お祝い食

10月13日(木) 10月の誕生日お祝い膳



長命荘からのお知らせ

入居者ご家族様・身元保証人様へのお願い 新型コロナウイルスワクチン4回目接種について

軽費老人ホーム長命荘、特別養護老人ホームフォレストホームでは、8月末～9月初旬頃に新型コロナウイルスワクチンの4回目の接種を行う準備を進めております。

接種を希望される方は、4回目の接種券がお手元に届きましたら、予診票の接種しますに☑を入れ「被接種者又は保護者自署」欄にサイン、日付を記入の上、ホームまで郵送されるかお持ちください。

速やかな接種のため、皆様のご協力をお願い致します。

第48回長命荘創立記念夏祭りについて

全国的な感染者数の減少などが報じられ、当法人でも夏祭りの大規模開催を検討したのですが、高齢者施設であり、ご家族様のご面会等もお断りしている状態での大規模開催は難しいとの判断で、残念ながら今年も小規模開催とさせていただきます。

安全に楽しいお祭りを開催できるよう、現在職員が検討を重ねております。打ち上げ花火も予定しておりますのでお楽しみに！



てをあらおう

腸活レポート



乳酸菌のちからで自然な排便ケアをめざす

より自然な排便ケアを考える取り組みの中で、腸にとって良いものが乳酸菌であると考え食事に取り入れられたご施設。その取り組みの様子を取材しました。

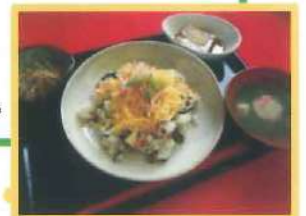
【取材協力】 社会福祉法人長命荘
〒630-0142 奈良県生駒市北田原町 2429-4
(軽費老人ホーム50床、特別養護老人ホーム74床、
ショートステイ16床、フォレストデイサービス30名)



施設概要

生駒の自然に囲まれた場所にある長命荘は、「アメニティリッチなホームを目指して」をモットーにご利用者さまにおうちのように快適に過ごしていただき、安心して生活を送っていただける環境づくりをサポートしている創立48年と介護経験が豊富な施設です。

家庭的な雰囲気大切に、陶器に盛り付けられるこだわりのメニューは、季節ごとに伝統の行事食を取り入れ、施設直営の厨房で心を込めて手作りしています。



『良い乳酸菌』を選ぶ

長命荘では、平成28年11月から朝食に乳酸菌 シロタ株を含む飲料を毎日提供しています。排便に悩む高齢者が多いため、下剤と自然食品を組み合わせ、できるだけ負担が少なく排泄できるよう取り組んでいましたが、効果は見られず下剤を追加して排泄することも少なくありませんでした。また、腸内環境も悪くなり、便秘と下痢を繰り返す結果となり、介護スタッフにとっても衣類やシーツが汚れて交換する手間が増えることもありました。そんなとき乳酸菌 シロタ株を試す機会をいただきました。

当時、提供していた週4回のヨーグルトを毎日1本の乳酸菌 シロタ株を含む飲料へ変更しました。食費だけでみると費用は上がるのですが、乳酸菌 シロタ株をしっかりと摂ることでいろいろな悩みを解決してくれるのではないかと総合的に判断し、

乳酸菌 シロタ株を含む飲料を提供することを選びました。

乳酸菌 シロタ株を含む飲料へ変更した結果・・・どうなったのでしょうか？ 裏面へ続く →

「便秘対策と水分補給を両立」

高齢者の施設では水分補給も課題になるのですが、乳酸菌 シロタ株を含む飲料は皆さんに受け入れられる味で、**乳酸菌をとることと水分補給が一緒にできるのがとても良い**と思います。嚥下が難しい方はトロミをつける必要がありますが、乳飲料はトロミ剤でトロミがつきにくいので、スポーツドリンクにトロミをつけ、そこに乳酸菌飲料を入れることでおいしく召し上がっていただけます。介護する側もスムーズにスプーンをはこぶことができ導入してよかったと思っています。



「ご家族さまにも好評です」

便秘対策として取り入れています、**感染症対策にも一役かっている**ように思います。また、ご家族さまと意見を交換するカンファレンスで毎朝提供していることを伝えると、皆さんおなかに良いことをご存じなので、「おうちでもよく好んで飲んでいたので、毎朝飲んでいることはうれしいです」と良い評価をいただくことがあります。

(写真左より 料理課 主任管理栄養士 高橋千枝さま、管理栄養士 今泉継実さま、管理栄養士 坂口真穂さま)

「お誕生日のお祝い膳」



普段のお食事も陶器で家庭的

乳酸菌 シロタ株のココがいい！

下痢のときに牛乳はストップ、
乳酸菌飲料はやめなくてよかった

- ①生きてまま腸内に到達
- ②良い菌を増やす
- ③悪い菌を減らす
- ④腸内環境を改善
- ⑤おなかの調子を整える

飲みやすい容器形状が

食べるきっかけに

ある入居者さまのお話です。脳梗塞で2か月間入院され、ホームへ戻られた時には後遺症があり食事は介助が必要でした。今まで召し上がられていた食事も「食べない」「いらない」とおっしゃって、食べやすいゼリー状や、好みのものを工夫してお出ししてもなかなか食べていただけず、体重も減って心配していました。

ある朝、朝食についていた乳酸菌 シロタ株を含む飲料にストローをさしてお渡ししたところ、ご自身で口元へストローをもっていき、なんと自力ですべて飲みまわることができたのです。もともと好きだったこと、容器の特徴と吸う力があまりいらぬ細いストロー、飲みまわることができる量が合っていたのだと思います。「自分の力で飲めた」ことがきっかけで、毎食乳酸菌 シロタ株を含む飲料を飲まれ水分が摂取できるようになり、さらには手も動かせるようになって、少しずつご自身で食事を召し上がられるようになったのです。私たちもこの件で、後遺症で口が開けにくかったことと何よりご自身で召し上がることがこの方には大切だったということに気づくことができました。今もご自身で食事され、体重維持されています。召し上がっていただけることで私たち職員も救われ、ご家族さまも喜んでおられます。